

原子力科学技術委員会 作業部会の見直し・大括り化について

- 昨年7月にエネルギー基本計画が改定され、多様な社会的要請の高まりも見据えた原子力関連技術のイノベーションの方針が明記。イノベーション方策を検討するにあたっては、研究開発、基盤、人材育成に係る課題に対して一体的・総合的に検討する必要。
- また、昨年末に原子力機構は約70年間の廃止措置等の方針を公表。バックエンド対策は大きな課題。
- 上記のことから、効果的に課題への対応を検討するため、原子力科学技術委員会に設置する作業部会の見直し・大括り化を以下の通り実施してはどうか。

【作業部会の見直し・大括り化(案)】

- 原子力研究開発基盤作業部会
- 原子力人材育成作業部会
- 群分離・核変換技術評価作業部会
- 高温ガス炉技術研究開発作業部会※

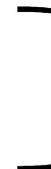
- 原子力施設廃止措置等作業部会
- 研究施設等廃棄物作業部会

- 核不拡散・核セキュリティ作業部会



○原子力研究開発・基盤・人材作業部会

※同作業部会提言に基づき、研究開発段階から産学官において緊密な意見交換を行う「高温ガス炉産学官協議会」にて議論を実施。



○原子力バックエンド作業部会



○核不拡散・核セキュリティ作業部会